

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	2	地域防災力の向上	○		予算（款項目）	2－1－1（13）
事業名	国民保護協議会運営経費								事業期間	R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
国民保護協議会の運営	国民保護協議会委員の報酬及び旅費	費用 便益		
個別計画	-	法令等	条例	B/C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		国民保護協議会委員の報酬及び旅費			
	予算額		22,000	0	0	22,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	22,000			22,000
	科目内訳	1節 報酬	19,000			19,000
		8節 旅費	3,000			3,000
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		0	22,000	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	国民保護計画等の改正 などがある場合に委員 を招集し会議開催	
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	0	22,000		
	科 目 内 訳	1節 報酬	0	19,000		
		8節 旅費	0	3,000		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） 会議の実績なし。			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	1	身近な安全	1	防犯交通安全の推進	○		予算（款項目）	2－1－13（1）
事業名	交通安全対策経費								事業期間	R6～R6（1年間）

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
交通安全対策	交通安全指導員の活動報酬及び旅費、交通安全セットカー維持管理、交通安全団体の負担金・補助金	費用 便益		
個別計画	－	法令等	条例	B／C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		・交通安全指導員の活動報酬及び旅費、交通安全セットカー維持管理、交通安全団体の負担金・補助金	流用		
	予算額		2,565,000	0	0	2,565,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	2,565,000			2,565,000
	科目内訳	1節 報酬	726,000	△ 704,000		22,000
		7節 報償費	0	704,000		704,000
		8節 旅費	1,092,000	△ 9,000		1,083,000
		10節 需用費	300,000	5,000		305,000
		11節 役務費	80,000	4,000		84,000
		18節 負担金	367,000			367,000

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		2,375,368	189,632	成 果(アウトカム) 交通安全指導員 3 2 名 に対しての、謝礼及び 費用弁償の支払い（年 4 回の交通安全週間、 保育園等でのこぐまク ラブ、各小学校への青 空教室での交通安全指 導）等。	改善点(アクション) 交通事故死ゼロ日数 5 0 0 日を目指し、交通 安全対策の強化を図 り、また、新たに自転 車の乗り方や事故も含 めた啓発活動の実施
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	2,375,368	189,632		
	科 目 内 訳	1節 報酬	0	22,000		
		7節 報償費	704,000	0		
		8節 旅費	956,880	126,120		
		10節 需用費	303,598	1,402		
		11節 役務費	73,590	10,410		
		18節 負担金	337,300	29,700		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・交通安全指導員に対する年謝礼及び費用弁償 ・関係機関補助金、負担金 ・セットカー維持経費（点検、燃料等）			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	7	公共交通	1		○		予算（款項目）	2-1-13（2）
事業名	自動車運転免許自主返納サポート事業								事業期間	R4～

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果（便益）（B）
高齢者の自動車運転ミスによる交通事故が増加傾向にあることから、自主返納等をした高齢者に対して地域公共交通チケットを配布することにより、編者数の増加を図る。	町内在住の満70歳以上で自主返納又は免許失効者を対象に配布（1人 10,800円）	費用 便益	486千円	（R5申請人数43名×10,800円）+前年未利用額分）×使用率41%+前年未利用額＝389,787円
個別計画	白老町運転免許自主返納支援実施要綱	法令等	—	B/C
			389,787/486,000＝0.8	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（11号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		町内在住の満70歳以上で自主返納又は免許失効者を対象に配布（1人 10,800円）	未執行予定による減額補正		
	予算額		486,000	△ 266,000	0	220,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他	486,000	△ 266,000		220,000
		一般財源				0
	科目内訳	19節 扶助費	486,000	△ 266,000		220,000
		節				0
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決算・成果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		182,000	38,000	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財源内訳	国 庫 支 出 金		0	令和 6 年38名に対し て、 1 人当たり10,800 円分の公共交通券を配 布（410,400円）。チ ケットをもらった方が 券を使用した場合の利 用料。 <u>(歳入)</u> <u>ふるさとGENKI応援寄附金基 金182,000円</u>	券配布の際に、乗り方を 知らないという方が多い ため、券を配布しても利 用者が少ない。また、高 齢者への運転免許返納 数・失効数を増やすため の事業であるが、増加に は至っていないため、事 業の在り方について検討 を図る必要がある。
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他	182,000	38,000		
		一 般 財 源		0		
	科目内訳	19節 扶助費	182,000	38,000		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） B（便益）：R6年度申請者発行額×チケット使用率37.1％ 152,481円 C（決算額）：182,000円 B/C＝0.83			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	2	地域防災力の向上	○		予算（款項目）	2-1-17（1）
事業名	自衛官募集事務経費								事業期間	R5～R5(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
自衛隊連合会協力会への補助	白老町自衛隊協力会連合会補助金	費用 便益		
個別計画	—	法令等	—	B/C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		白老町自衛隊協力会連 合会補助金			
	予算額		94,000	0	0	94,000
	財源内訳	国庫支出金	26,000			26,000
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	68,000			68,000
	科目内訳	18節 負担金	94,000			94,000
		節				0
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		94,000	0	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	26,000	0	自衛隊協力会に対する 補助金	自衛隊協力会実施事業 (募集看板の設置、町 出身入隊者記念品ほ か)
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	68,000	0		
	科 目 内 訳	18節 負担金	94,000	0		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） 自衛隊協力会に対する補助金			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	1	身近な安全	1	防犯交通安全の推進	○		予算（款項目）	2-1-17（2）
事業名	防犯対策経費								事業期間	R6～R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
地域住民の安全な生活に伴う防犯対策	防犯対策団体への負担金・補助金	費用 便益		
個別計画	—	法令等	—	B/C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		・防犯対策団体への負担金・補助金			
	予算額		358,000	0	0	358,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	358,000			358,000
	科目内訳	18節 負担金	358,000			358,000
		節				0
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		358,000	0	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	・ 白老町防犯協会補助 金 ・ 苫小牧地区暴力追放 運動推進協議会、苫小 牧地区防犯協会負担金	
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	358,000	0		
	科 目 内 訳	18節 負担金	358,000	0		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） 関係機関への補助金及び負担金				

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	2	地域防災力の向上	○		予算（款項目）	9－1－4（1）
事業名	防災会議運営経費								事業期間	R6～R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
防災会議の運営経費	防災会議委員の報酬及び旅費	費用 便益		
個別計画	－	法令等	条例	B／C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		防災会議委員の報酬及び旅費			
	予算額		23,000	0	0	23,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	23,000			23,000
	科目内訳	1節 報酬	19,000			19,000
		8節 旅費	4,000			4,000
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度(当初)	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		0	23,000	成 果(アウトカム) ・ 地域防災計画の改正 などの際に会議を開催	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	0	23,000		
	科 目 内 訳	1節 報酬	0	19,000		
		8節 旅費	0	4,000		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） 会議の実績なし。			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	1	防災・減災体制の強化	○		予 算（款項目）	9－1－4（2）
事業名	災害対策経費								事業期間	R6～R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目 的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
災害応急対策等に要する経費	防災関係消耗品、災害対策費用保険料、各システム通信費・委託料、災害応急委託料・借上料・原材料費、樽前火山防災会議協議会負担金	費用 便益		
個別計画	－	法 令 等	－	B／C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年 度 計 画	年度区分		6年度(当初)	6年度（5号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		防災関係消耗品、災害対策費用保険料、格システム通信費・委託料、災害応急委託料・借上料・原材料費、樽前火山防災会議協議会負担金	台風10号に伴う災害対策業務の補正（委託、使用料、原材料）		
	予 算 額		1,777,000	1,895,000	0	3,672,000
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金				0
		道 支 出 金				0
		地 方 債				0
		そ の 他	20,000			20,000
		一 般 財 源	1,757,000	1,895,000		3,652,000
	科 目 内 訳	8節 旅費	50,000			50,000
		10節 需用費	37,000			37,000
		11節 役務費	783,000			783,000
		12節 委託料	420,000	671,000		1,091,000
		13節 使用料賃借料	265,000	1,051,000		1,316,000
		15節 原材料費	124,000	173,000		297,000
		18節 負担金	88,000			88,000
		19節 扶助費	10,000			10,000

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		3,156,801	515,199	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	・ 災害が発生した際の 応急対策費用 2 件（委 託費、重機賃借料、原 材料費） ・ 衛星電話、LINE利用 料 ・ 石山大排水路水位計 利用料、点検委託料ほ か	災害発生した場合に、 白建協に対し、応急復 旧を依頼をし、費用に ついては、災害規模に より専決補正にて対応 を図っている。
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他	20,000	0		
		一 般 財 源	3,136,801	515,199		
	科 目 内 訳	8節 旅費	33,600	16,400		
		10節 需用費	28,706	8,294		
		11節 役務費	775,627	7,373		
		12節 委託料	945,514	145,486		
		13節 使用料賃借料	1,135,249	180,751		
		15節 原材料費	150,605	146,395		
		18節 負担金	87,500	500		
		19節 扶助費	0	10,000		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・ 気象警報対応費用2回分 ・ 衛星電話、LINE利用料 ・ 石山大排水路カメラ点検費ほか			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	1	防災・減災体制の強化	○		予算（款項目）	9－1－4（3）
事業名	防災センター管理経費								事業期間	R6～R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
防災センター維持管理	防災センター維持管理経費（燃料・光熱水・下水道）	費用 便益		
個別計画	－	法令等	－	B／C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		防災センター維持管理経費（燃料・光熱水・下水道）			
	予算額		4,394,000	0	0	4,394,000
	財源内訳	国庫支出金	4,394,000			4,394,000
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源				0
	科目内訳	10節 需用費	4,340,000			4,340,000
		13節 使用料賃借料	54,000			54,000
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		3,742,933	651,067	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	3,742,933	651,067	防災センター維持管理 費（燃料、電気、上下 水道費）	
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源		0		
	科 目 内 訳	10節 需用費	3,701,873	638,127	(歳入)	
		13節 使用料賃借料	41,060	12,940	防災センター管理委託	
		節		0	金 3,742,933円	
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） 防災センター維持管理費（燃料、電気、上下水道費）			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	1	防災・減災体制の強化	○		予算（款項目）	9－1－4（4）
事業名	防災行政無線（同報系）施設管理経費								事業期間	R6～R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
防災行政無線（同報系）維持管理	防災行政無線消耗品・電気料・回線使用料、施設管理委託料、防災無線電波利用料、無線資格取得負担金	費用 便益		
個別計画	－	法令等	－	B／C

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		防災行政無線消耗品・電気料・回線使用料、施設管理委託料、防災無線電波利用料、無線資格取得負担金	流用		
	予算額		2,716,000	0	0	2,716,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	2,716,000			2,716,000
	科目内訳	8節 旅費	6,000			6,000
		10節 需用費	391,000	52,000		443,000
		11節 役務費	170,000			170,000
		12節 委託料	2,084,000	△ 36,000		2,048,000
		13節 使用料賃借料	9,000	1,000		10,000
		18節 負担金	56,000	△ 17,000		39,000

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		2,677,330	38,670	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	防 災 無 線 維 持 管 理（電 気 代、専 用 回 線 代、点 検 保 守 委 託 費）	
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	2,677,330	38,670		
	科 目 内 訳	8節 旅費	0	6,000		
		10節 需用費	432,410	10,590		
		11節 役務費	168,261	1,739		
		12節 委託料	2,035,000	13,000		
		13節 使用料賃借料	9,009	991		
		18節 負担金	32,650	6,350		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・ 防災無線屋外子局49基電気代 ・ 保守点検委託（制御卓、屋外局ほか）			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	1	防災・減災体制の強化	○		予算（款項目）	9－1－4（5）
事業名	防災行政無線更新事業								事業期間	R6～R6（1年間）

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果（便益）（B）
防災行政無線の更新事業		携帯電話網を活用した防災行政無線を導入することで、無線不感地帯の解消や、文字配信による災害情報の多重化を図る。		費用 便益	118,360千円	(226,000,000) × 0.3 = 67,800,000千円
個別計画	－	法令等	－	B/C	67,800,000/118,360=572	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		Jアラート自動起動装置、アプリケーション導入、戸別受信機・タブレット	財源振替		
	予算額		118,360,000	0	0	118,360,000
	財源内訳	国庫支出金	59,180,000	△ 1,020,000		58,160,000
		道支出金				0
		地方債	59,100,000			59,100,000
		その他				0
		一般財源	80,000	1,020,000		1,100,000
	科目内訳	12節 委託料	115,868,000			115,868,000
		17節 備品購入費	2,492,000			2,492,000
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決算・成果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		105,600,000	12,760,000	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	52,800,000	5,360,000	全体事業として、老朽化した防災無線を更新すべく、R6年度は、Jアラートとの自動連動装置及び防災アプリを導入することで、ワントタイム及び庁舎外からの防災情報の配信が可能となった。 <u>(歳入)</u> ・デジタル田園都市国家構想 交付金 52,800千円	・防災アプリ登録者を増やすため、様々な手法による広報活動の実施。 ・今後における屋外スピーカーとの連動工事
		道 支 出 金		0		
		地 方 債	51,700,000	7,400,000		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	1,100,000	0		
	科 目 内 訳	10節 需用費	103,543,814	12,324,186		
		17節 備品購入費	2,056,186	435,814		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事務事業評価		事務事業内容（アウトプット） B（便益）：（人的損失額(アプリ導入目標人数1,000人×人的損失226,000千円)）×（災害発生確率 津波30%） ※国交省費用便益マニュアル準用 C（決算額）105,600千円 B/C＝ 642			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	1	防災・減災体制の強化	○		予算（款項目）	9－1－4（6）
事業名	防災対策推進事業								事業期間	R6～R6（1年間）

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果（便益）（B）
防災備蓄品の更新		災害時備蓄品の消耗品・備品購入		費用 便益	2,120千円	3,929千円
個別計画	－	法 令 等	－	B／C	3,929/2,120＝1.85	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度 計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（ 号）	6年度（ 号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		アルファ米、災害用パン、 保存水、拡声器、扇風機の 購入	流用	財源振替	
	予 算 額		2,120,000	0	0	2,120,000
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金				0
		道 支 出 金	1,000,000		△ 100,000	900,000
		地 方 債				0
		そ の 他				0
		一 般 財 源	1,120,000		100,000	1,220,000
	科 目 内 訳	10節 需用費	1,960,000	△ 9,000		1,951,000
		17節 備品購入費	160,000	9,000		169,000
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		2,111,182	8,818	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	町備蓄方針による災害 用備蓄品の購入 ●更新分 アルファ米、水、パン ●補充分 拡声器、扇風機 (歳入) <u>地域づくり交付金900千円</u>	・ 気候環境などによる 備蓄品目の拡充 ・ 避難所生活環境の改 善 ・ 備蓄倉庫の増加
		道 支 出 金	900,000	0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	1,211,182	8,818		
	科 目 内 訳	10節 需用費	1,942,552	8,448		
		17節 備品購入費	168,630	370		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） B（便益）3,929,000円（（R6備蓄品購入人数138名（3日分）×宿泊費用便益31,636円×3日）× 津波災害発生率30%） C（決算額）2,111,182円 B/C=1.86			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	2	地域防災力の向上	○		予算（款項目）	9－1－4（7）
事業名	地域防災力向上事業								事業期間	R6～R6（1年間）

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果(便益)（B）
防災訓練等の経費		防災訓練経費、防災訓練及び地域 防災活動普及業務委託料、防災士 養成費用		費用 便益	1,674千円	（夏期避難訓練900人×1 h ×2,000円）+（社台避難所 訓練70名×3 h×2,000円） +冬期100名×4 h×2,000 円）+防災士費用128千円+マ スター150千円
個別計画	—	法 令 等	—	B／C	3,298/1,674 = 1.97	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度（当初）	6年度（11号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		防災訓練経費、防災訓練及び地域防災活動普及業務委託料、防災士養成費用	事業完了による減額補正	流用	
	予算額		1,674,000	△380,000	0	1,294,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他	1,674,000	△380,000		1,294,000
		一般財源				0
	科目内訳	7節 報償費	100,000		12,000	112,000
		10節 需用費	645,000		△13,000	632,000
		11節 役務費	0		1,000	1,000
		12節 委託料	801,000	△380,000		421,000
		13節 負担金	128,000			128,000

4 決算・成果（事後評価）

決算・成果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		1,049,657	244,343	成 果(アウトカム) 夏の防災総合防災訓練については、気象条件により中止。 ・社台地区訓練20名 ・冬期防災訓練100名が参加 ・マスター会助成 ・防災士2名助成 <u>(歳入)</u> <u>ふるさとGENKI応援寄附金基金1,049,657円</u>	改善点(アクション) 年々、町内会組織の高齢化などの原因から、防災訓練参加者の減少が続いている状況があるため、訓練想定については興味のもてる内容やイベント的要素を加えた訓練をすることにより、防災力の向上に繋げたい。
	財源内訳	国庫支出金		0		
		道支出金		0		
		地方債		0		
		その他	1,049,657	244,343		
		一般財源		0		
	科目内訳	7節 報償費	111,370	630		
		10節 需用費	416,542	215,458		
		11節 役務費	605	395		
		12節 委託料	393,540	27,460		
		13節 負担金	127,600	400		
	事務事業評価		事務事業内容（アウトプット） B（便益）：R6年防災訓練参加人数による経費、防災士育成助成費用、防災マスター会委託費 1,198,000円 C（決算額）：1,674,000円 B/C=0.71			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	2	地域防災力の向上	○	予 算（款項目）	9－1－4（8）
事 業 名	自主防災組織活動支援事業							事 業 期 間	R5～R7(3年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果(便益)（B）
自主防災組織活動の活動支援		自主防災組織や企業に対して防災活動支援をし、町全体における共助体制の強化を図る。自主防災組織5万円、企業10万円の助成		費用 便益	1,000千円	申請予想総事業費 企業12万円×8団体、町内6万円×4団体＝1,480千円
個別計画	主防災組織の活動支援に関する助成金	法 令 等		B／C	1,200千円/1000千円＝1.20	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度 計 画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		自主防災組織に加え、民間企業に対する助成事業を追加			
	予 算 額		1,000,000	0	0	1,000,000
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金				0
		道 支 出 金				0
		地 方 債				0
		そ の 他	1,000,000			1,000,000
		一 般 財 源				0
	科 目 内 訳	18節 負担金	1,000,000			1,000,000
		節				0
		節				0
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		835,000	165,000	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	町内会や民間企業における防災の支援事業実施により町全体の防災力向上が図れるもの。 ・ 8 企業、 2 町内会	自主防災組織及び対象企業への制度の認知度を広げる必要がある。
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他	835,000	165,000		
		一 般 財 源		0		
	科 目 内 訳	18節 負担金	835,000	165,000	(歳入)	<u>ふるさと GENKI 応援寄附金基金</u> 835,000円
		節		0		
		節		0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） B（便益）申請実績合計額 948,867円 C（決算額）835,000円 B/C = 1.13			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	総務課防災交通室
------	----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	1	生活環境	2	防災・減災	1	防災・減災体制の強化	○		予算（款項目）	9－1－4（9）
事業名	地域防災組織育成助成事業								事業期間	R6～R6(1年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
防災力を高めるため、町内会自主防災組織が申請するコミュニティ助成事業（国）	末広第2町内会自主防災組織において、発電機などの防災資機材を購入	費用 便益	600千円	1221千円（申請時事業概要額）
個別計画		法令等		B／C 1221千円/600千円＝2.03

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		年度(当初)	6年度（8号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）			自主防災組織活動支援事業から名称変更となり、新事業となる。		
	予算額		0	600,000	0	600,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他		600,000		600,000
		一般財源				0
	科目内訳	18節 負担金		600,000		600,000
						0
						0
						0
						0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		600,000	0	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0	町内会自主防災組織が 独自行う事業であり、 末広第2 町内会がリヤ カー、発電機、投光器 などの購入を実施 <u>(歳入)</u> コミュニティ助成事業600千 円	自主防災組織からの申 請により、国からの採 択をうける補助事業で あるため、今後も町内 会に対し、事業につい て広めていく必要があ る。
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他	600,000	0		
		一 般 財 源		0		
	科 目 内 訳	18節 負担金	600,000	0		
				0		
				0		
				0		
				0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） B(便益) 末広第2 町内会防災資機材購入実績605,242円 C(決算額) 600,000円 B/C = 1.01			